

まず行動する



共に考え行動する



力をまとめる



確かめ合う

1 【 職員間での指導過程についての情報交換 】

職員が連携し合って、一人一人の児童生徒に合った指導をしたい。

他の職員の指導経過と児童生徒の反応について情報を得ることで、自分の指導に対する見通しをもってほしい。

職員同士で様々な指導方法について学びたい。

学年やクラスの隔たりなく、学校生活の中で気になる児童生徒の様子や、自分の指導の仕方とそれに対する児童生徒の反応について情報交換し、どうすればよりよい指導となるかを話し合っている。

一人の児童生徒の話題から関連して、様々な児童生徒の状況について話題が広がっている。

児童生徒に対してどのような指導をして、どのような変容があったかを話題にしている。

職員間で、指導経過と児童生徒の反応についての情報交換をしている。

2 【 学年会での話合いや情報交換 】

学年職員で考えを出し合って、よりよい指導方針・指導方法を生み出したい。

見通しをもって指導していきたい。

学年の歩調を整えたい。

学習指導や生活指導において昨年度の踏襲だけでなく、児童生徒の実態を考慮してよりよい指導方針・指導方法をつくりだしている。

あらかじめ予定にあることについて指導方針・指導方法を確認している。

教育的な指導については、学年として取り組む認識を深めるための共通理解をしている。

学年会で、指導内容の確認や協議事項、指導方法、指導方針の話合い、児童生徒についての情報交換を基に、より児童生徒の実態や特性を生かした指導内容や方法を工夫している。



3 【 学年職員への取組の説明 】

指導のねらいを明確にしたい。

指導において、児童生徒にどのような力を付けさせたいかを説明している。

学年としての取組（組織プレー）を意識してほしい。

指導方針・指導方法が学年として統一できるように共通理解している。

児童生徒の課題に対する取組を意識させたい。

学年としてどうしてこういう取組をするのかを説明している。

学年職員に学年の取組について説明している。

4 【 学校や学年の重点の伝達と学年職員への理解促進 】

日々の指導において、大切にしていることを伝えたい。

学年通信等で児童生徒・保護者・職員に生き生きとした児童生徒の姿を伝えている。

学校や学年の取組に理解や協力を得たい。

学校や学年の指導方針・指導方法を分かりやすく伝えている。

学年の取組の意義やねらいを理解してほしい。

社会情勢や学校の指導方針・指導方法を踏まえながら、学校便りと連携をとった学年通信を発行している。

学校や学年で「こういうことを大事にしている」「目指そうとしていることはこういうことだ」ということを伝えている。

教頭

教務主任

学年主任

研修主任